

# わかりやすい 藤沢市の財政

2010

平成22年度予算と平成20年度決算から  
藤沢市の財政状況を見てみよう



藤沢市の財政状況を  
わかりやすく  
解説しました。

藤 沢 市



- もくじ ● 市民生活を支える財政 ……………01  
● 平成22年度予算を見てみよう……………02  
● 藤沢市の台所事情は? ……………07  
● 藤沢市の借金はどうなっているの? ……11
- もっと知りたいあなたに(上級編)  
● 財務諸表でわかる藤沢市の財政状況…15

# 1

## 市民生活を支える財政

### 1 財政は市民のニーズにもとづき必要なサービスを提供するという重要な役割をはたしています。

地方公共団体が行う行政サービスや公共事業などの行政活動を経済的な面からとらえたものを財政といいます。

1年間の収入見込をもとに、どの事業にどれだけ支出していくかを計画したものが予算であり、その計画にもとづきどのように執行したのか、実績と成果を明らかにしたものが決算です。



- 財源としての収入の見込み
- 実施規模の見込み

財政的な計画

↓  
予算

実施

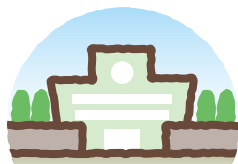
### ●みなさんの生活のなかのさまざまな行政サービス



道路の建設・維持管理



ごみ・資源の収集



小・中学校の管理



高齢者への福祉サービス



保育園での保育サービス



体育館  
図書館

こうしたたくさんの行政サービスを行っていく上で必要となるお金をやり繰りしているのが財政であり、市民生活を支えるとても重要な役割を果たしています。

### 日常生活に関わりの深い主な行政サービス

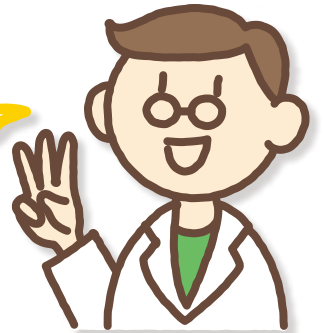
- 防災・安全対策
- ごみと資源の収集
- 学校の管理
- 道路・公園の整備
- 消防・救急活動
- 広報紙などによる広報活動
- 検診や予防接種などの健康事業
- 高齢者等への福祉サービス
- 公民館・スポーツ・文化施設の利用
- 緑地保全

# 2

## 平成22年度予算を見てみよう

### 1 市のお財布はどうなっているの？

藤沢市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。お財布で言えば3種類のお財布があって、お金の出し入れをします。



1,186億  
9,700万円

一般会計

#### 一番大きいお財布が「一般会計」です。

福祉・子育て・道路整備などのまちづくりに必要なお金を経理する会計です。家計に例えると生活費に使うお金を出し入れするお財布です。

平成22年度の当初予算の額は、1,186億9,700万円になっています。

#### 次のお財布は「特別会計」です。

お金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別にしています。藤沢市には、「国民健康保険事業費」や「区画整理事業費」など10の特別会計があります。

665億  
9,345万円

特別会計

- 北部第二(三地区)土地区画整理事業費 .....11億9,658万円
- 競輪事業費 .....40億3,363万円
- 墓園事業費 ..... 4億 885万円
- 国民健康保険事業費 .....367億2,950万円
- 地方卸売市場事業費.....1億5,740万円
- 老人保健事業費..... 3,623万円
- 柄沢特定土地区画整理事業費.....8億 938万円
- 湘南台駐車場事業費..... 1億4,790万円
- 介護保険事業費 ..... 192億9,606万円
- 後期高齢者医療事業費.....37億7,792万円

342億  
8,800万円

公営企業会計

#### 最後のお財布が「公営企業会計」です。

普通の会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っているお財布です。

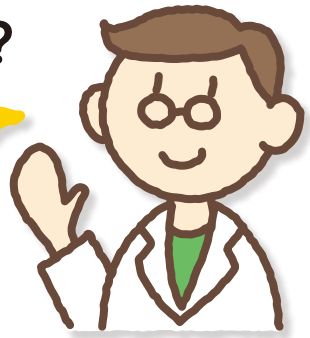
藤沢市には、下水道と病院の二つの公営企業会計があります。

- 下水道事業費 .....171億6,627万円
- 市民病院事業 .....171億2,174万円



全会計 **2,195億7,845万円**

## 2 市の歳入(1年間の収入)はどんな状況ですか?



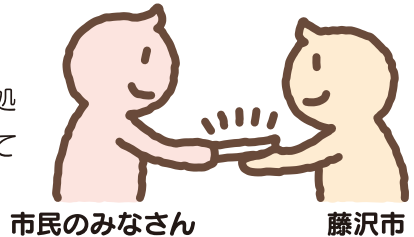
では、みなさんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、平成22年度の歳入がどのようになっているのか見てみましょう。



藤沢市の歳入には、自主財源と依存財源があります。

**自主財源**  
853億2,831万円

みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、藤沢市が自主的に財源として集めることができる収入です。

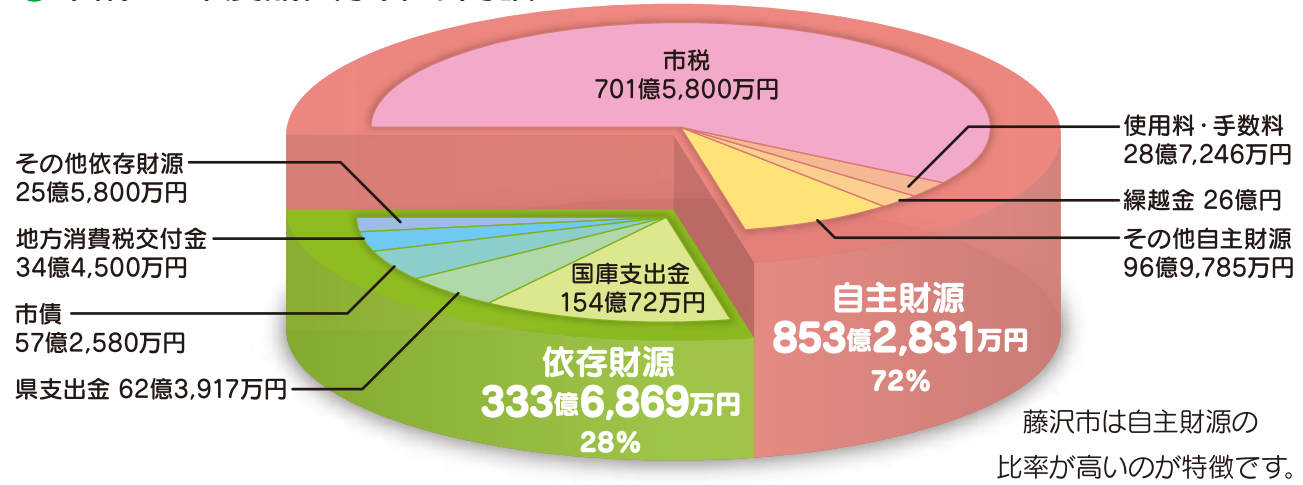


**依存財源**  
333億6,869万円

道路や施設を作るときに国からもらう補助金や、借り入れる市債など、国が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。

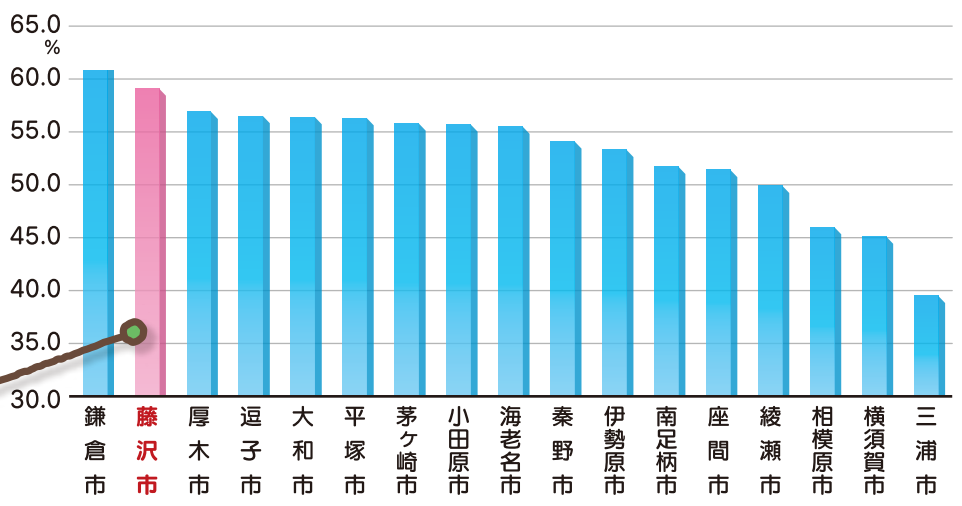


### ●平成22年度歳入予算の内訳



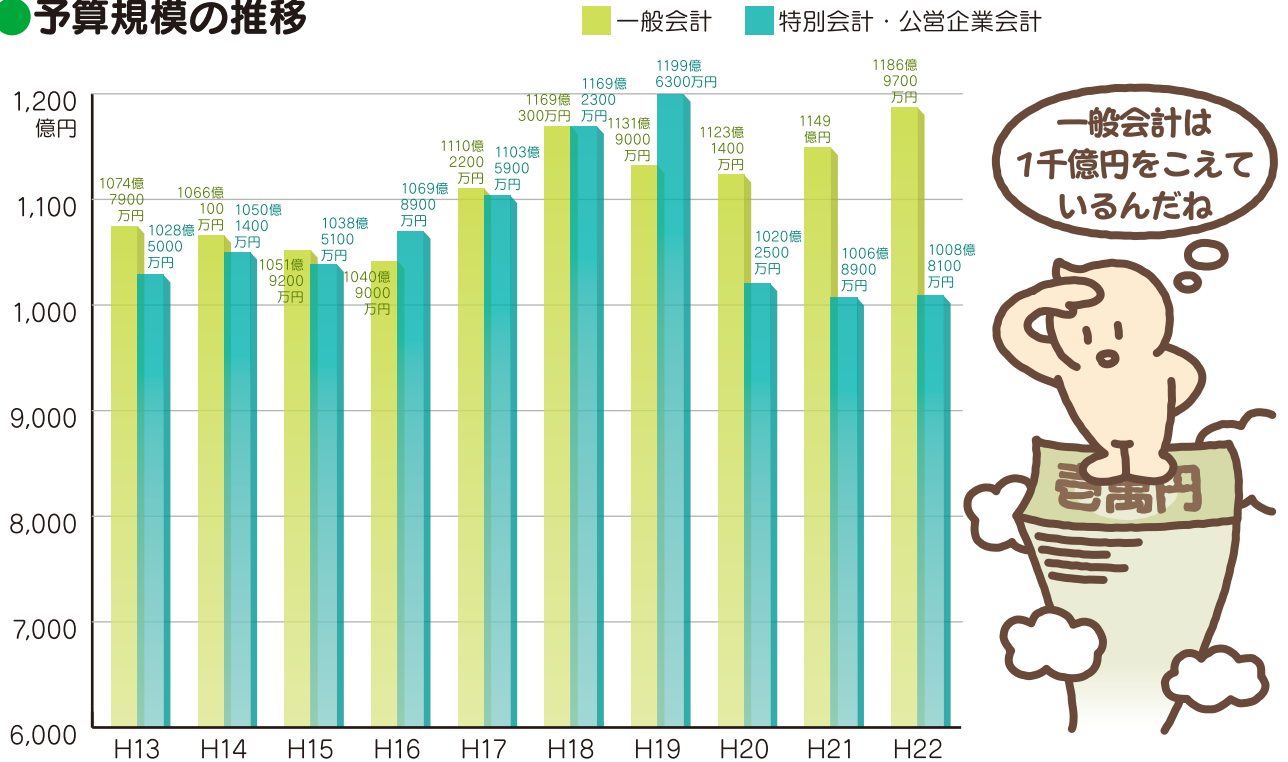
### ●歳入予算に占める市税の割合

藤沢市は  
県下17市中  
**第2位**です





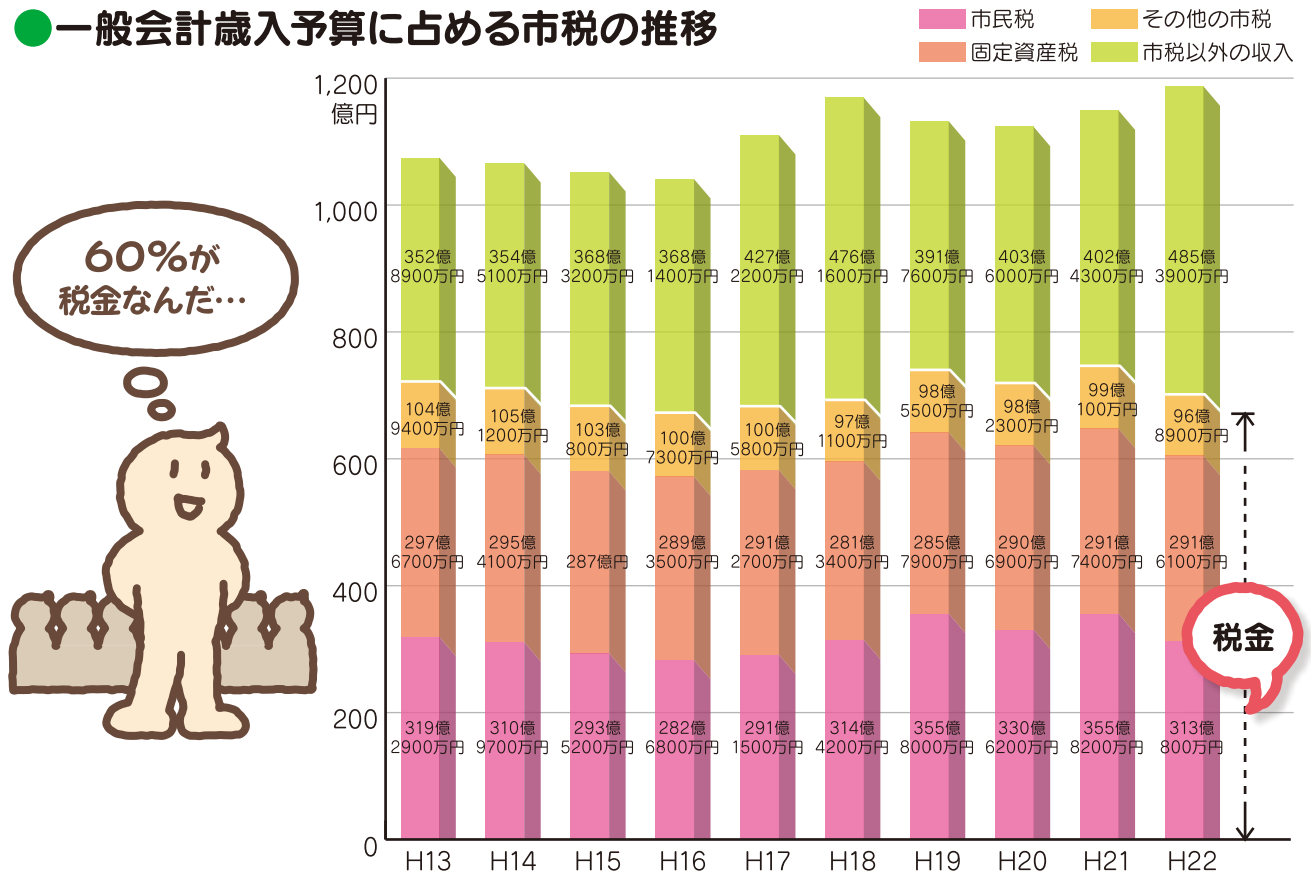
## ● 予算規模の推移



一般会計の予算規模は主に扶助費の増加により拡大傾向です。平成22年度は子ども手当の創設により増加しています。

特別会計は平成20年度に後期高齢者医療制度がスタートして保険事業の一部が神奈川県後期高齢者医療広域連合へ移行されたため減少しています。

## ● 一般会計歳入予算に占める市税の推移



市民税や固定資産税など市税収入の歳入予算全体に占める割合は、ほぼ毎年60%を超えていましたが、平成22年度は景気後退の影響を受けて59%となっています。

### 3 市の歳出(1年間の支出)はどんな状況ですか?

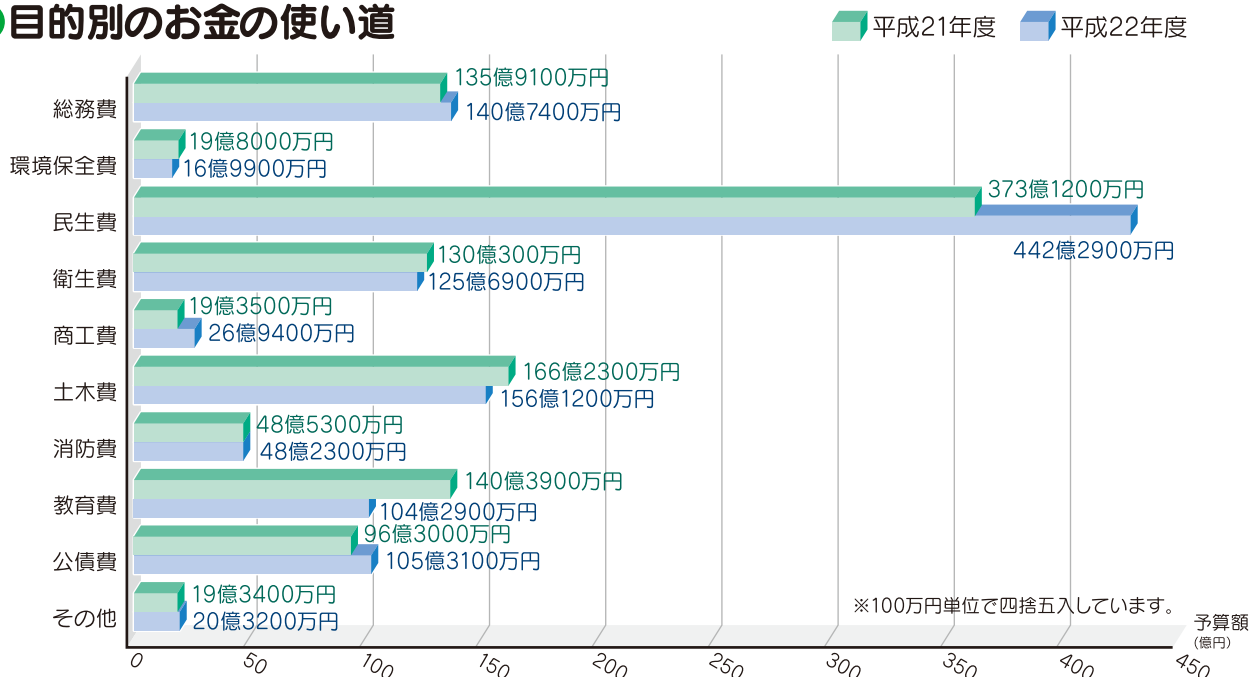
入ってきたお金は、どのように使われているのでしょうか。今度は歳出について見てみましょう。

市では、道路や学校を作ったり、火災や急病に備えて消防車や救急車を用意したり、そのほか子育てや福祉などさまざまな事業にお金を使っています。

では、何にお金を使っているのでしょうか? 簡単に説明すると次のようになります。



#### ● 目的別のお金の使い道



**総務費**  
市民センターや市民会館の運営、広報ふじさわの発行、税金の徴収や住民票の発行などに使われます。

**環境保全費**  
交通安全や防犯対策、公害防止や緑地の保全などに使われます。

**民生費**  
保育園の運営費、小児医療、高齢者や障害者などの福祉に使われます。

**衛生費**  
ごみを集めたり処理したりする経費や保健所の運営などに使われます。

**商工費**  
商店街や中小企業を応援したり、観光施設の管理などに使われます。

**土木費**  
道路や橋を整備したり、公園を作ったり、市営住宅の管理などに使われます。

**消防費**  
消防車や救急車を管理したり、消防署の整備などに使われます。

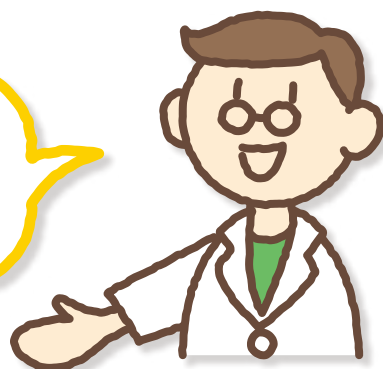
**教育費**  
小学校や中学校の校舎や体育館、公民館や図書館、スポーツ施設の整備や運営に使われます。

**公債費**  
大きな施設や道路を作るときに、国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。

**その他**  
農業や水産業、働いている人や仕事を探している人を応援する事業などに使われます。

## 4 家計簿に例えて見ると

家庭と市役所では、お金の使い道が違うので単純に比べられません  
が、例えば藤沢市の予算を年収500万円(月収41万円)の家計に置き換えて  
みると…



### 藤沢市の予算

こうなります。

収 入		支 出	
市 税	701億5,800万円	人件費	263億6,917万円
使用料、手数料など	151億7,030万円	扶助費	274億8,277万円
【自主財源合計】	853億2,830万円	物件費	196億9,793万円
国・県支出金など	276億4,290万円	投資的経費・維持補修費	107億5,112万円
市債の発行	57億2,580万円	公債費	105億2,506万円
		繰出金・補助費など	209億6,924万円
		積立金・貸付金	29億 171万円
収入の合計	1,186億9,700万円	支出の合計	1,186億9,700万円

### 家計簿に例えると…

こんな感じかな…

収 入		支 出	
お父さんの給料	24万2,000円	食 費	9万1,000円
お母さんのパート代	5万2,000円	医療費・保育料	9万5,000円
【給料等の合計】	29万4,000円	光熱水費や被服代	6万8,000円
その他臨時収入	9万6,000円	家の増築・修理、家財購入	3万7,000円
銀行からの借入	2万円	住宅ローン返済	3万6,000円
		子どもへの仕送り	7万3,000円
		貯 金	1万円
収入の合計	41万円	支出の合計	41万円

このほかにローンの残高や預貯金の残高は、どうなっているのでしょうか？

ローンの残高(市債残高) 837億9,300万円 家計では352万9,700円  
預貯金の残高は(基金残高)117億3,000万円 家計では 49万4,100円

※平成20年度一般会計の決算額をもとにしています。

収入ではお父さんやお母さんの給料で71.9%を占めています。年間の借金も多くはありませんね。

支出では、医療費やローンの返済、子どもへの仕送りなど、なかなか節約が難しい経費が大きいですね。

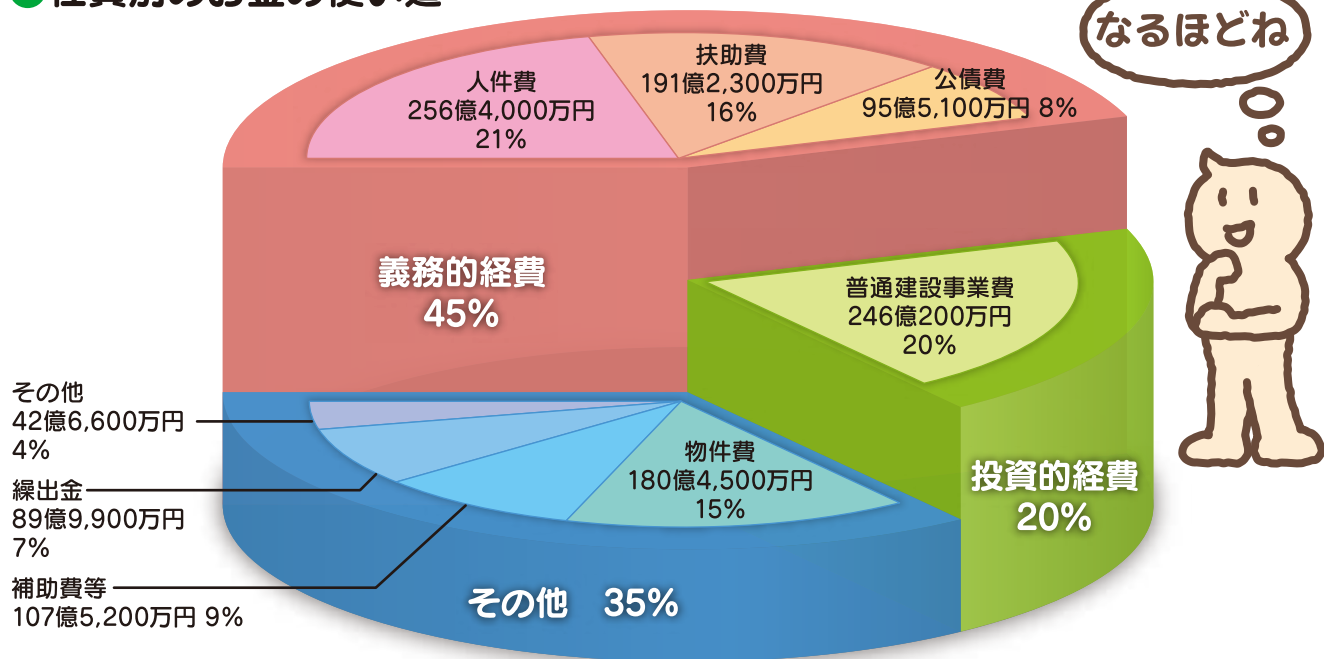


# 3

## 藤沢市の台所事情は？

① 今度は平成20年度普通会計決算から藤沢市の台所事情を見てみましょう。

### ● 性質別のお金の使い道



**扶助費**  
生活困窮者、子ども、高齢者、障害者などを援助するために使われます。

**公債費**  
国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。

**普通建設事業費**  
道路、橋りょう、公園、学校などの社会資本の整備に使われます。

**補助費等**  
下水道事業や病院事業に対する負担金、幼稚園や保育所への補助金などに使われます。

**繰出金**  
国民健康保険事業や土地区画整理事業などに対して事務費や建設費を援助するために使われます。

### ★ 普通会計とは？

他市町村との比較に使います。市町村ごとに会計の範囲が異なり、財政状況の比較が困難なため、統計上用いる会計区分です。

藤沢市の普通会計は、一般会計と3つの特別会計(墓園事業費、北部第二(三地区)土地区画整理事業費、柄沢特定土地区画整理事業費)です。



## 2 義務的経費が年々増えてきています。

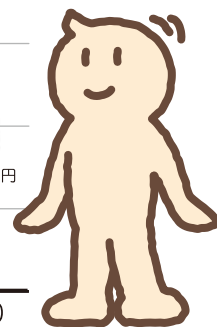
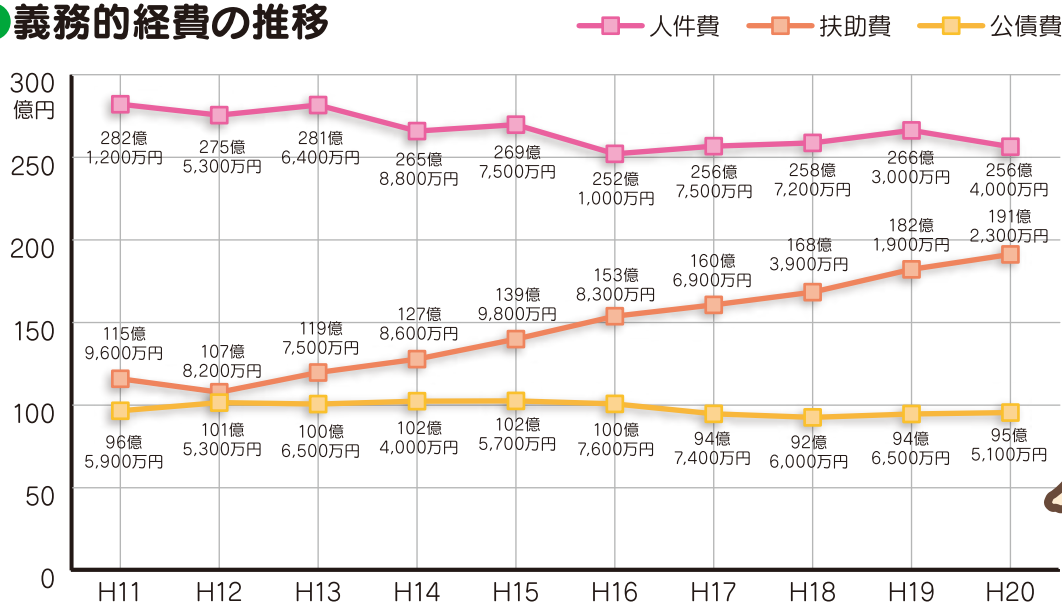
人件費、扶助費、公債費は毎年の支出が義務づけられ節減することが難しいため「義務的経費」と分類されます。

義務的経費の割合が高くなると自由に使えるお金が少なくなり、新しい市民サービスや公共施設の建設などが難しくなります。

それでは義務的経費の10年間の推移を見てみましょう。



### ● 義務的経費の推移

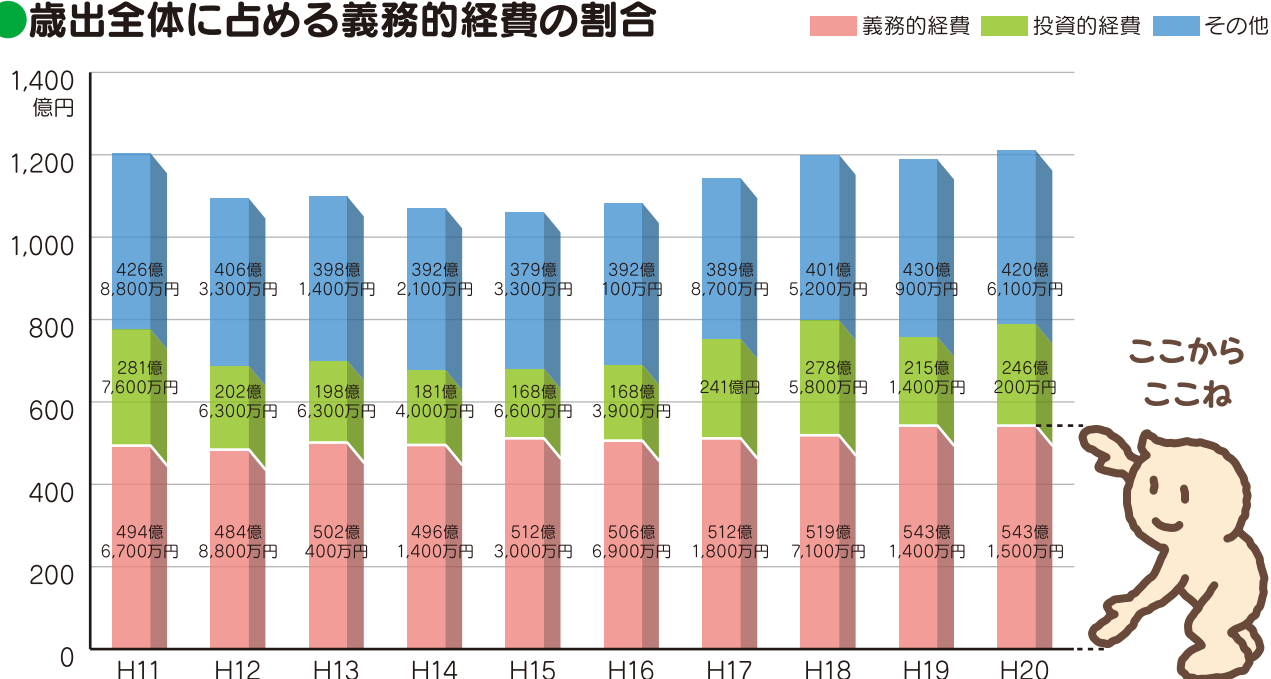


人件費は平成10年度をピークに、増減はありますが定員削減などにより減少してきています。

扶助費は10年間で約75億円(65%)増加しました。平成12年度は介護保険事業がスタートして減少しましたが、それ以降は毎年平均で10億円ずつ増加しています。

公債費は、10年前より減少していますがほぼ横ばい状態です。

### ● 歳出全体に占める義務的経費の割合



ここから  
ここね



義務的経費は10年間で48億円(9.8%)増えました。歳出全体に占める割合で比較すると、3.8ポイントの増加です。



### 3 「経常収支比率」は台所事情をあらわします。

#### ★経常収支比率とは？

自由に使えるお金がどのくらいあるかがわかります。  
社会経済や市民ニーズの変化に的確に responding していくための財源がどの程度確保されているかを示します。

算出方法は、

毎年度経常的に支出される経費に充当された一般財源

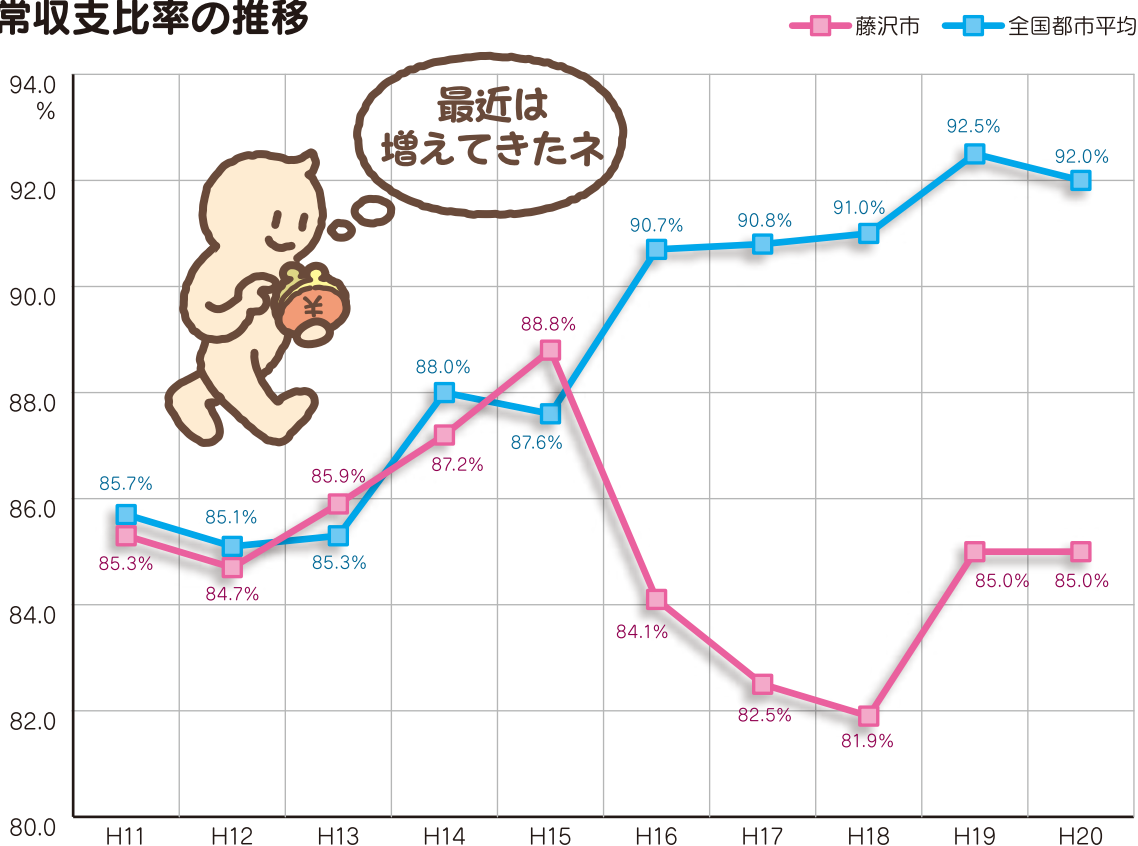
毎年度経常的に収入される一般財源

です。

給料に占める食費やローンの返済額の割合と同じで、比率が低ければ自由に使えるお金が多くなります。



#### ●経常収支比率の推移



都市部では70～80%程度が望ましいと考えられています。80%を超えると財政構造の弾力性が失われつつあると言われてはいますが、大多数の市が扶助費や公債費などの増加により80%を超えています。

藤沢市は平成15年度に88.8%まで上昇しましたが、その後臨時財政対策債の発行や市税等の増収により81.9%まで低下しました。平成19年度以降は臨時財政対策債の発行額を抑えたため85%まで上昇しています。

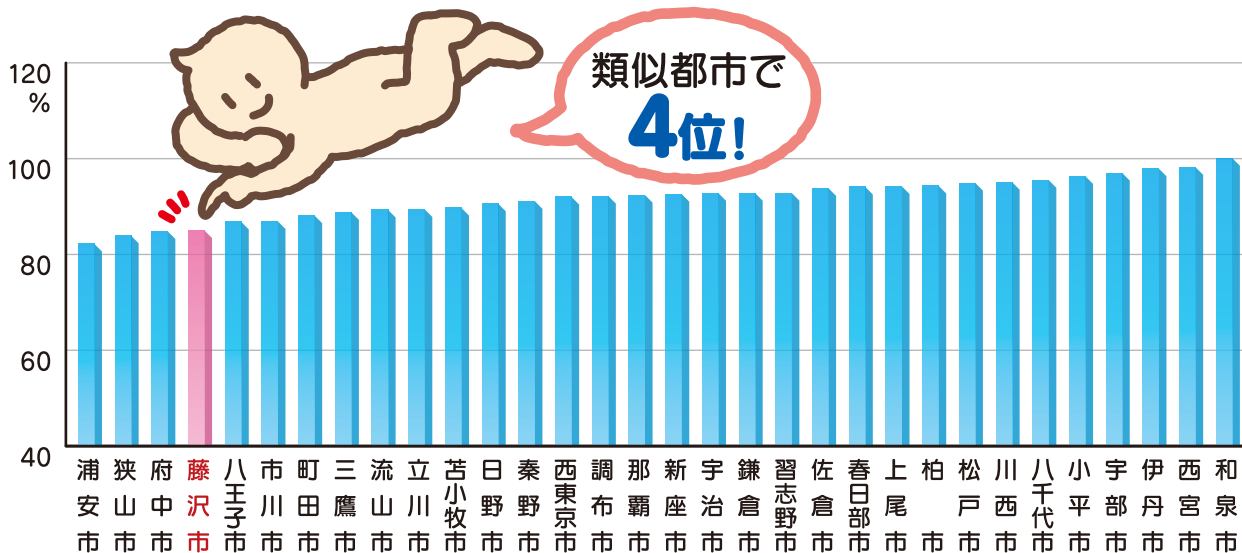
#### ★一般財源とは？

使い道が特定されない何にでも使える収入のことです。主なものに市税、国からの譲与税、赤字債である臨時財政対策債などがあります。





## ●平成20年度経常収支比率 類似32市比較



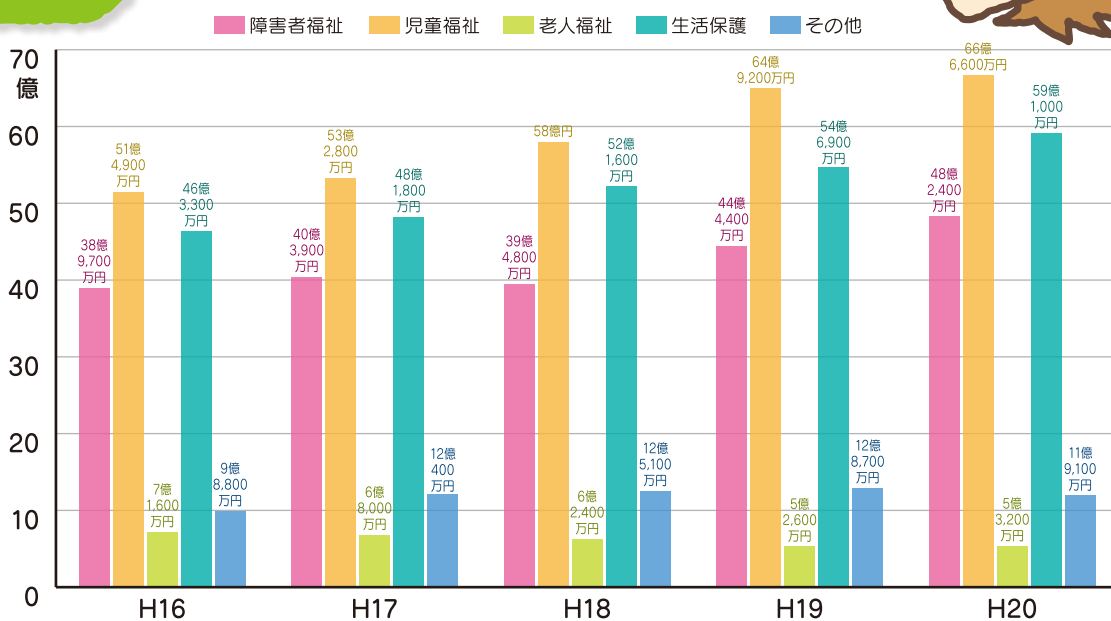
人口や産業構造が類似している上記32市中4位、横浜市と川崎市を除く県内17市中2位となっています。

経常収支比率から藤沢市の台所事情をみると、「給料はあまり増えないのに毎月の支払額は着実に増えてだんだん厳しくなっている。でも平均的な世帯よりはまだ余裕がある方だ。」というところでしょうか。



## ここでひと休み

### 扶助費は何が増えているのでしょうか？



子ども、生活困窮者、障害者に対する扶助費が増えています。5年間でいずれも20%を超える伸び率です。特に児童福祉費は29.5%増となっています。

# 4

## 藤沢市の借金は どうなっているの？

### 1 借金はどれくらい？

藤沢市の借金は、平成20年度に約99億円を新たに借り入れて、約128億円返済しました。

借金残高は、市全体で約1,660億円です。



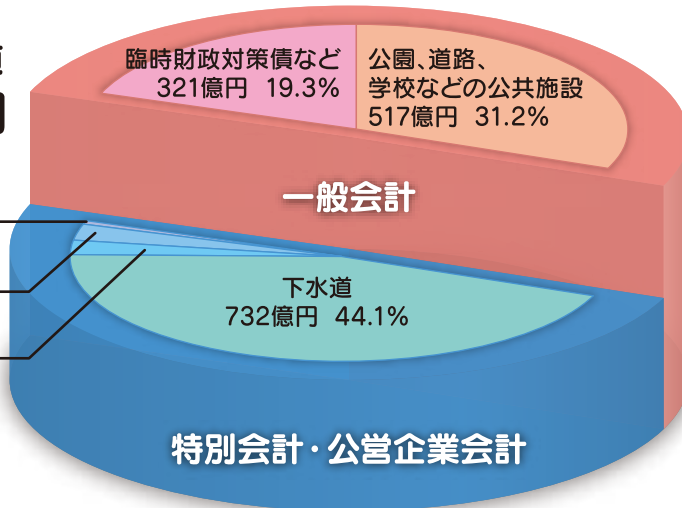
- 借金は、主に公園、道路、学校、下水道などの公共施設の整備に使われています。

#### 借金の使い道 1,660億円

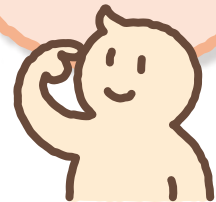
湘南台駐車場、市場  
12億円 0.7%

土地区画整理事業  
38億円 2.3%

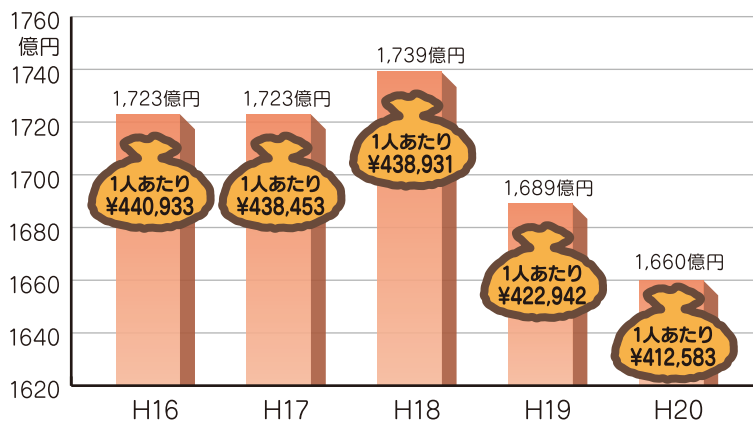
市民病院医療機器、  
救命救急センター  
40億円 2.4%



市民1人あたりにすると  
平成20年度中に  
新たな借り入れ…約2万5千円  
元金返済…約3万2千円  
残高…約41万3千円



#### ●借金残高の推移



平成18年度までは、複数の大規模な建設事業を実施したため、借入額が返済額を超えたことにより増加しましたが、平成19年度以降は返済額を超えないように借り入れを抑制したことにより減少しています。

#### ★借金は他の市と比べて多いの？ 少ないの？

市民一人あたりを県内17市で比べると、少ない方から6番目です。 (普通会計という区分で比較)

藤沢市 約22万円	最高 A市 約40万円	最低 B市 約17万円	17市平均 約25万円
--------------	----------------	----------------	----------------

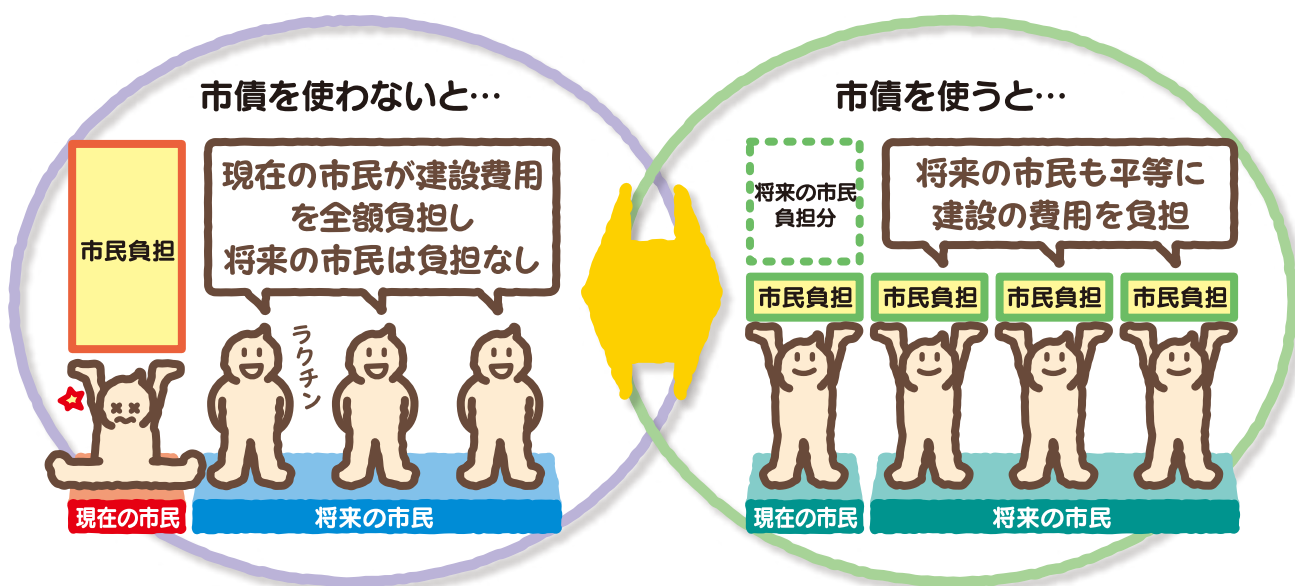
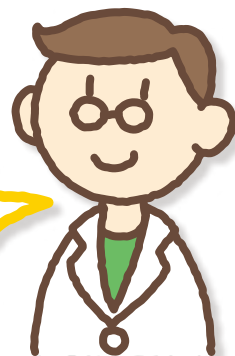
県内少ない方から  
**6番目**



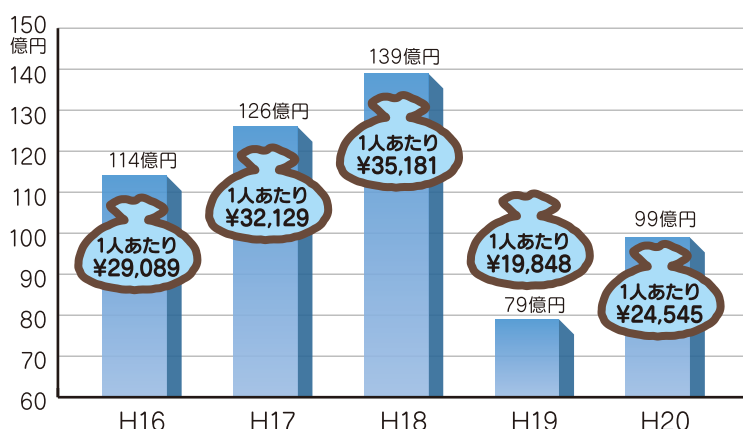
## 2 どうして借金をするの？

- 「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割」と「毎年の財源を平均する役割」があります。

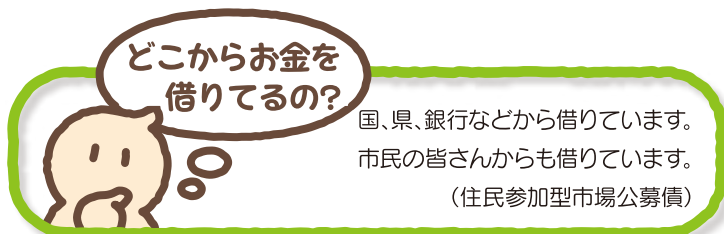
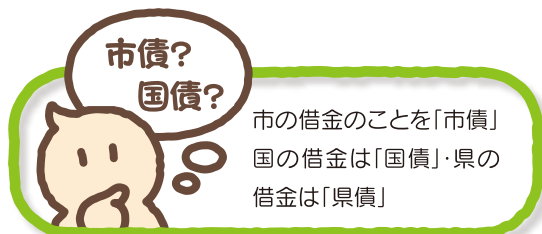
学校、公園、道路、下水道などの公共施設の整備に市債という借金を活用しています。公共施設の整備には一時期に多額のお金が必要になります。これをその年の収入だけで賄ってしまうと他の仕事ができなくなってしまいます。また、公共施設は現在の市民だけではなく、将来の市民も利用するものであるため、負担の公平性を図る観点から、市債を活用して平等に費用の負担をお願いしています。しかし、借金が将来の市民への大きな負担とならないように、計画的に借り入れていくことが重要です。



### ● 借入額の推移



平成16年度から平成18年度までは、北部焼却施設、保健所、救命救急センター（市民病院）など大規模な建設事業を実施したことにより増加しましたが、平成19年度以降の借入れは返済額以内に抑制しています。



### 3 借金の返済額は妥当なの？

#### ●健全化判断比率から見てみよう

借金の返済額が身の丈にあったものかどうかを判断する基準に「実質公債費比率」というものがあります。収入に対して返済額がどの程度の割合になるのか、借金返済の負担が多すぎないかをチェックするものです。

借金漬けになる可能性が高いとされる目安25%に対して、藤沢市は8.4%（平成20年度決算）で良好な状態にあります。

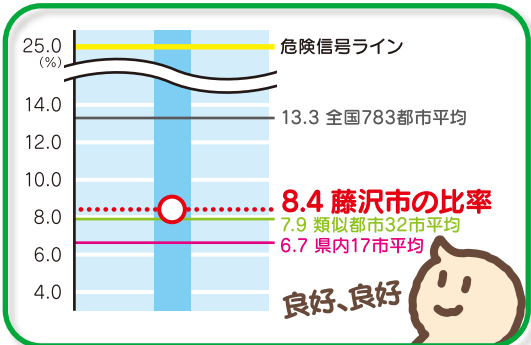


#### ●家計に例えると（実質公債費比率）

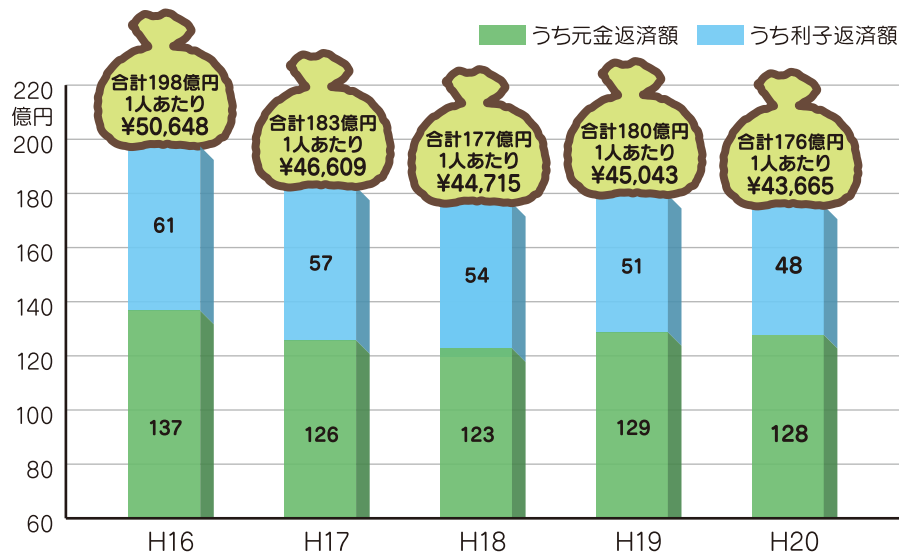
家や車のローン、クレジットカードで買い物をした支払いなどその年の返済額が、年収の25%以上となった場合、借金漬けになる可能性が高いという危険信号である状態を示しています。



#### ●実質公債費比率（他市との比較）



#### ●返済額の推移



返済総額と元金返済額は、ほぼ横ばいですが、利子返済額は借り入れ利率の低下により減少しています。

#### ★財政の健全度を診断する指標「健全化判断比率」って？

財政破綻を未然に防ぐことを目的に「財政健全化法」という法律ができ、財政の健全度を診断する指標「健全化判断比率」を議会や市民のみなさんに毎年公表することが義務づけられました。

健全化判断比率は、4つの指標①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債費比率④将来負担比率があり、赤字や負債（借金返済）の状況など4つの視点から示すものです。

- ①・②は年間の赤字の割合（①は一般会計等、②は全ての会計を対象）、③は借金の返済額の割合、④は将来の負担が見込まれる負債の割合をチェックするものです。



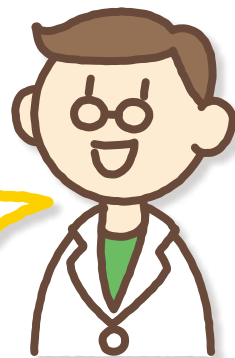


# 4 将来の市民に負担はかからないの？

## ●健全化判断比率から見てみよう

借金や数年間にわたる契約により約束された支払い、職員の退職金など、将来支払わなければならない負債が、収入に対してどの程度なのかを示す指標として、「将来負担比率」というものがあります。負債にかかる負担が大きくないかをチェックするものです。

将来財政を圧迫する可能性が高いとされる目安350%に対して、藤沢市は45.7%（平成20年度決算）で良好な状態にあります。

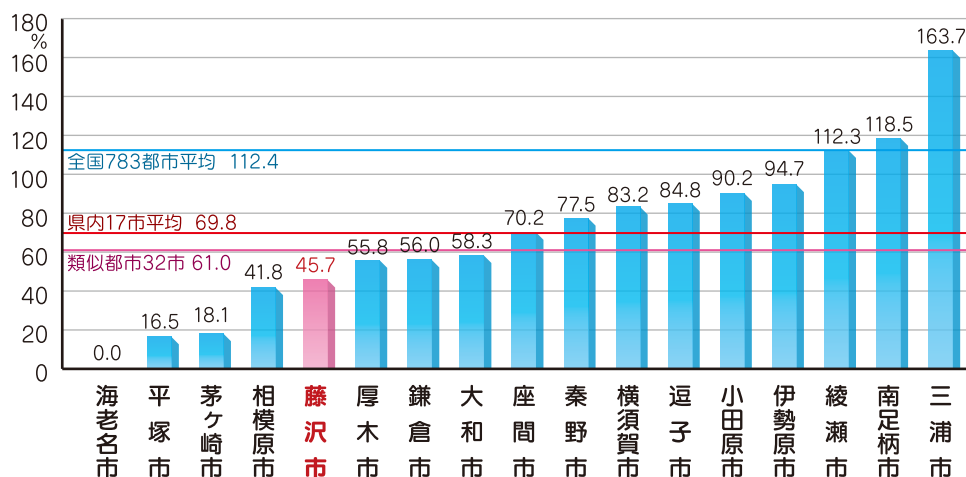


## ●家計に例えると(将来負担比率)

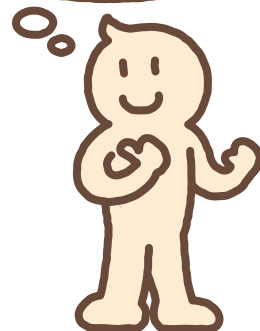
家や車のローンの残高、クレジットカードの支払い残高など、これから返済していかなければならない返済総額が、年収の3.5倍以上になった場合には、今後ローン返済などに追われ家計が成り立たなくなり、経済的苦境におちいる状態にあることを示しています。



## ●県下17市将来負担比率



県内5番目、いいんじゃない？



藤沢市の比率は、県内17市中、将来負担が少ないほうから数えて5番目です。類似都市平均、全国平均からみても良好な状態にあるといえます。



健全化判断比率からみた平成20年度の藤沢市の財政状況は、いずれの指標も危険信号を示す基準値を下回っており、「健全段階」であります。

## ●健全化判断比率

比率	藤沢市		早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
	H20	H19		
実質赤字比率	-	-	11.25	20
連結実質赤字比率	-	-	16.25	40
実質公債費比率	8.4	9.6	25	35
将来負担比率	45.7	46.4	350	

単位: %

※「-」は黒字

## ★早期健全化基準・財政再生基準とは？

市の財政状況が悪化し、危うくなったときにイエローカード(早期健全化基準)で警告をします。

更に悪化し自主的に財政の立て直しができなくなったときは、レッドカード(財政再生基準)で、国・県の関与のもと、確実な財政の立て直しに着手することになります。



# 5

もっと知りたいあなたに（上級編）

## 財務諸表でわかる藤沢市の財政状況

### 1 藤沢市にはどのくらいの資産があるのだろうか？

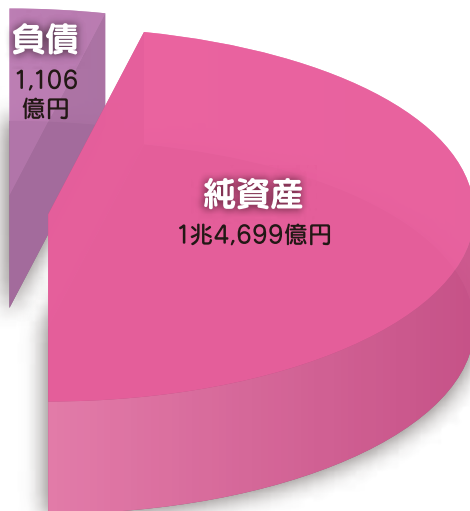
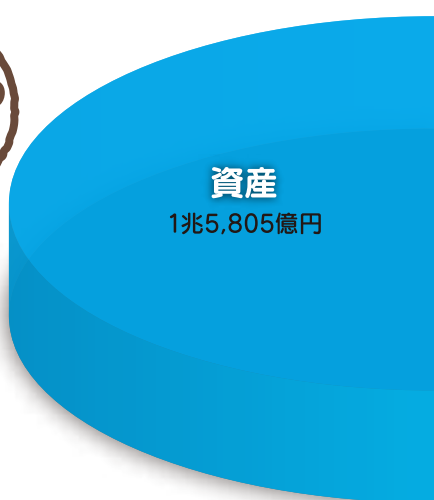
ここからは代わってワタシが解説します。

貸借対照表を見れば、藤沢市の資産、負債、純資産が一目でわかります。

資産、負債、純資産の割合を円グラフで表すと次のようになります。



#### ●平成20年度 藤沢市 普通会計 貸借対照表における資産・負債・純資産の割合



藤沢市の資産は、これまでの世代の負担（純資産）によって築かれたものが大部分を占めていることがわかります。

将来世代の負担となる負債は、資産に対して7%を占めています。

資産の中には、これまで積み立ててきた市の貯金ともいえる基金があります。

基金には寄附金や基金運用利子などを積み立て、それぞれの基金の目的に応じた事業に使います。



#### ●基金の残高内訳

**交通安全基金** 交通安全対策事業のための基金  
0.3億円

**文化振興基金** 市民オペラなど文化振興事業のための基金  
3.3億円

**平和基金** 核兵器廃絶と恒久平和の確立に寄与する事業のための基金  
3.4億円

**環境基金** ごみの減量化や資源化などの事業のための基金  
4.7億円

**愛の輪福祉基金** 障害児者の自立、社会参加実現促進事業などのための基金  
6.3億円



**大庭台墓園基金** 大庭台墓園の整備及び管理経費に充てるための基金  
9.7億円

**庁舎整備基金** 庁舎整備のための基金  
10.1億円

**みどり基金** 緑地の取得、緑の保全事業などのための基金  
11.7億円

**財政調整基金** 決算で余ったお金などを積み立て、市税等の減収による財源不足や災害の際に取り崩すことにより、年度間の財源を調整するための基金  
77.5億円



市が持っているすべての資産や負債などのストック(財貨の貯蔵量)の状況を表したものが貸借対照表です。

貸借対照表の左側(借方)には資産が、右側(貸方)には資産取得の財源が表示されます。右側の上部には資産の取得のために借り入れた借金などの負債が、右側の下部には、借金以外の財源である純資産がそれぞれ表示されます。



## 資産 = 負債 + 純資産

### ●平成20年度 藤沢市 普通会計貸借対照表 (平成21年3月31日現在)

	借 方	貸 方	
土地、建物、構築物、備品など	[資産の部]	[負債の部]	借り入れた市債のうち翌々年度以降の償還予定額
有形固定資産のうち未利用資産で売却が可能なもの	1.公共資産 1兆5,156億円	1.固定負債 991億円	全職員が年度末に自己都合退職したと想定した場合の退職手当額最大どれくらいの額が必要か見るためのもの
下水道などの企業会計や市出資団体などに対する出資金	(1)有形固定資産 1兆5,149億円	(1)地方債 792億円	借り入れた市債のうち翌年度の償還予定額
みどり基金など特定目的基金の残高	(2)売却可能資産 7億円	(2)長期未払金 -	翌年度支払予定額のうち20年度分を準備費用として積み立てるもの
市税等の収入未済額のうち20年度以前に発生した分のうちの未収額	(2)投資等 483億円	(3)退職手当引当金 199億円	これまで資産や投資の取得財源として充てた額の累計
転居先不明等の理由で市税等の回収が困難であると見込まれる額	(1)投資及び出資金 416億円	(4)損失補償等引当金 -	市債のうち赤字債は資産の形成を伴わず、償還には今後の税収などを充てるため、この分は将来の一般財源が拘束されている。
財政調整基金 + 歳計現金	(2)貸付金 0.06億円	2.流動負債 115億円	資産を時価評価したことにより、取得時よりも資産価値が上がっていることを表している。
市税等の収入未済額のうち20年度に発生した分のうちの未収額	(3)基金等 49億円	(1)翌年度償還予定地方債 80.5億円	
	(4)長期延滞債権 27億円	(2)短期借入金 -	
	(5)回収不能見込額 △9億円	(3)未払金 0.7億円	
	3.流動資産 166億円	(4)翌年度支払予定退職手当 20.9億円	
	(1)現金預金 157億円	(5)賞与引当金 12.9億円	
	(2)未収金 9億円	負債合計 1,106億円	
資産合計 1兆5,805億円		[純資産の部]	
		1.公共資産等整備国県補助金等 814億円	
		2.公共資産等整備一般財源等 5,350億円	
		3.その他一般財源等 △383億円	
		4.資産評価差額 8,918億円	
		純資産合計 1兆4,699億円	
		負債・純資産合計 1兆5,805億円	

△表示はマイナスを表します。

### ★資産老朽化比率

土地を除く有形固定資産合計額に対する減価償却累計額の割合を算出することにより、資産が耐用年数に対して取得からどの程度経過しているのかを表しています。

以下の5市の中では、藤沢市の施設が一番老朽化が進んでいることがわかります。

藤沢市	茅ヶ崎市	大和市	秦野市	町田市
42.8%	44.2%	40.9%	40.6%	42.1%



## 2 純資産ってなんだろう？

純資産は、貸借対照表の右側(貸方)の下部に表示され、その左側(借方)の資産を取得する際の財源を表し、負債以外の財源を表しています。

純資産額が前年度末(期首)に比べ、どのように変動したかを示したものが純資産変動計算書です。



### ●平成20年度 藤沢市 普通会計純資産変動計算書

〔自平成20年4月1日〕  
〔至平成21年3月31日〕

	純資産合計	公共資産等 整備 国県補助金等	公共資産等 整備 一般財源等	その他 一般財源等	資産評価差額
期首純資産残高	5,672.4億円	782.2億円	5,273.5億円	△388.5億円	5.3億円
純経常行政コスト	△959.6億円			△959.6億円	
一般財源					
地方税	771.8億円			771.8億円	
地方交付税	0.5億円			0.5億円	
その他行政コスト充当財源	92.2億円			92.2億円	
補助金等受入	207.1億円	54.7億円		152.4億円	
臨時損益					
災害復旧事業費					
公共資産除売却損益	0.6億円			0.6億円	
投資損失					
損失補償等引当金繰入等					
科目振替※					
公共資産整備への財源投入			117.8億円	△117.8億円	
公共資産処分による財源増				1.7億円	△1.7億円
貸付金・出資金等への財源投入			37億円	△37億円	
貸付金・出資金等の回収等による財源増			△27.9億円	27.9億円	
減価償却による財源増		△22.4億円	△105.4億円	127.8億円	
地方債償還に伴う財源振替			55.8億円	△55.8億円	
資産評価替えによる変動額	8,914.6億円				8,914.6億円
無償受贈資産受入					
その他					
期末純資産残高	1兆4,699.6億円	814.5億円	5,350.8億円	△383.8億円	8,918.2億円

行政コスト計算書の(差引)純経常行政コストの額と一致

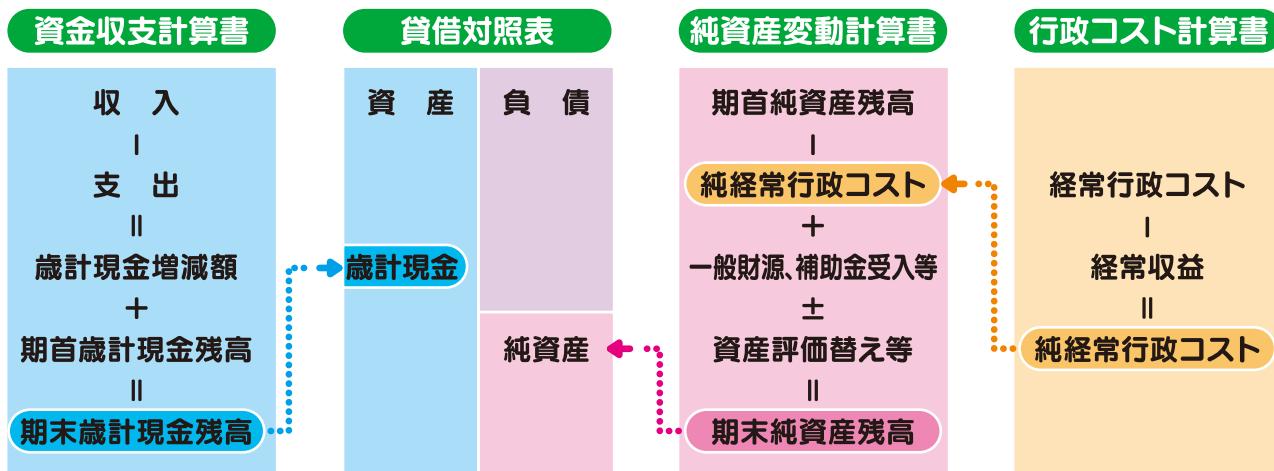
扶助費などに充てた国県補助金

資産を時価評価した結果、取得時よりも資産価値が上がったことにより、その分純資産額が増加となる。

※科目振替とは、公共資産等整備と一般財源の間でそれぞれに充てた財源の原因別の変動を示しています。

「地方債償還に伴う財源振替」は、公共資産等整備のための市債の返済を一般財源でおこなったため、「公共資産等整備一般財源等」へ振替えるものです。

## ● 財務諸表4表の関連



財務諸表の4表には、次のような相互関係があります。

貸借対照表の純資産は純資産変動計算書の期末残高と一致し、貸借対照表の歳計現金は資金収支計算書の期末残高と一致し、行政コスト計算書の純経常行政コストは純資産変動計算書のそれとそれぞれ一致します。

## ● 市民一人当たりの貸借対照表

平成21年3月31日現在 藤沢市人口402,294人

借 方		貸 方	
[資産の部]		[負債の部]	
1. 公共資産	376万7,500円	1. 固定負債	24万6,400円
(1) 有形固定資産	376万5,800円	(1) 地方債	19万7,000円
(2) 売却可能資産	1,700円	(2) 長期未払金	—
2. 投資等	12万100円	(3) 退職手当引当金	4万9,400円
(1) 投資及び出資金	10万3,400円	(4) 損失補償等引当金	—
(2) 貸付金	—	2. 流動負債	2万8,600円
(3) 基金等	1万2,300円	(1) 翌年度償還予定地方債	2万円
(4) 長期延滞債権	6,700円	(2) 短期借入金	—
(5) 回収不能見込額	△2,400円	(3) 未払金	170円
3. 流動資産	4万1,300円	(4) 翌年度支払予定退職手当	5,200円
(1) 現金預金	3万9,000円	(5) 賞与引当金	3,200円
(2) 未収金	2,300円	負債合計	27万5,000円
資産合計	392万8,900円	[純資産の部]	
		1. 公共資産等整備国県補助金等	20万2,500円
		2. 公共資産等整備一般財源等	133万100円
		3. その他一般財源等	△9万5,400円
		4. 資産評価差額	221万6,800円
		純資産合計	365万3,900円
		負債・純資産合計	392万8,900円

市民一人当たりの資産額 392万8,900円 市民一人当たりの負債額 27万5,000円

### 3 藤沢市の行政サービスにはどのくらいのコストがかかっているのだろう？



ごみの収集や福祉サービスの提供など資産の形成に結びつかない行政サービスにどれだけ費用(コスト)がかかり、それをどのような収入でまかなったかを表すものが行政コスト計算書です。

#### ●平成20年度 藤沢市 普通会計行政コスト計算書

〔自平成20年4月1日〕  
〔至平成21年3月31日〕

##### 【経常行政コスト】

		総額	構成比率
貸借対照表に計上した退職給与引当金の前年度からの増減額に20年度の退職手当を加算したもの	(1)人件費	217.9億円	21.7%
	(2)退職手当引当金繰入等	24.8億円	2.5%
	(3)賞与引当金繰入額	12.9億円	1.3%
	小計	255.6億円	25.4%
老朽化などにより市の施設等を補修する経費	(1)物件費	180.4億円	17.9%
	(2)維持補修費	9.1億円	0.9%
	(3)減価償却費	127.8億円	12.7%
扶助費などの経費	小計	317.3億円	31.5%
個人や団体等の活動に対して交付する補助金など	(1)社会保障給付	191.2億円	19.0%
	(2)補助金等	43.4億円	4.3%
	(3)他会計等への支出額	154.1億円	15.3%
	(4)他団体への公共資産整備補助金等	22.4億円	2.2%
市債の支払利息	小計	411.1億円	40.9%
貸借対照表に計上した回収不能見込額の前年度からの増減額に20年度の不納欠損額を加算したもの	(1)支払利息	17.7億円	1.8%
	(2)回収不能見込計上額	4.4億円	0.4%
	(3)その他行政コスト	0	0.0%
小計	22.1億円	2.2%	
経常行政コスト a		1,006.3億円	

##### 【経常収益】

使用料・手数料 b	37.7億円
分担金・負担金・寄附金 c	8.9億円
経常収益合計 (b + c) d	46.7億円
d / a	4.6%
(差引)純経常行政コスト a-d	959.6億円

いろいろ細かく計算されているんだネ

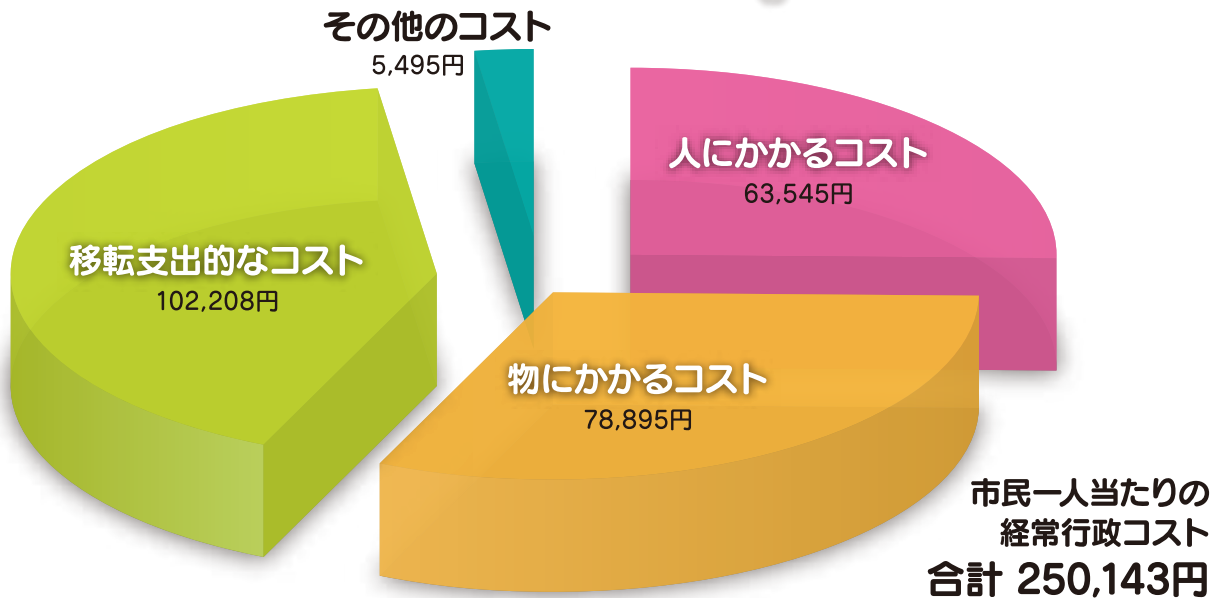


差引の「純経常行政コスト」は、市税などの一般財源や国県からの補助金などでまかっています。

さて、市民1人当たりの行政コストはどのくらいかかっているでしょうか。  
下のグラフを見てください。



●平成20年度 藤沢市 普通会計 行政コスト計算書  
における市民一人当たりの経常行政コスト



★受益者負担比率

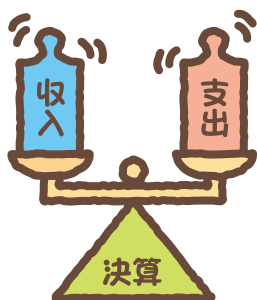
経常収益は市民のみなさんが支払う使用料や手数料などの受益者負担金の総額です。行政コストに対する割合を算出することにより、受益者負担の割合を表しています。経常収益では経常行政コストの4.6%しかまかなえていないことがわかります。しかし、藤沢市ではごみの有料指定袋制が導入されていることなどから、他市に比べて比率が高くなっています。

藤沢市	茅ヶ崎市	大和市	秦野市	町田市
4.6%	4.1%	4.2%	3.4%	3.7%

藤沢市の割合は  
**4.6%**です



★市の決算と財務書類のちがいは



現在、市の決算は現金ベースです。お金が入ってきて収入となり、お金が出ていって支出となります。

入ってきたお金を支出に充てるため、収入と支出は同じ額となります。

貸借対照表では、土地や建物などの資産がどのくらいあるか、債権がいくらあってそのうち現金化されたものがどのくらいあるか、借金が全体でどのくらいあって、いくら残っているかなど、全体の財政状況がわかるようになります。

全体の債権額と実際に現金化された額(収入済額)との差額は、貸借対照表では未収金となり、その後現金が入ることによって未収金が減っていくこととなります。



# 4 市の財産のうち現金の動きを見てみよう

貸借対照表の左側(借方)、資産の部に計上されている現金をその支出の性質から3つにわけて、現金の変動を表すものが、資金収支計算書です。

資金収支計算書は、引当金や減価償却費などの現金でない支出を含まないことから、ほかの財務書類とちがい、現金のみの表示となっています。市の決算書に一番近い財務書類といえます。



## ●平成20年度 藤沢市 普通会計資金収支計算書

〔自平成20年4月1日  
至平成21年3月31日〕

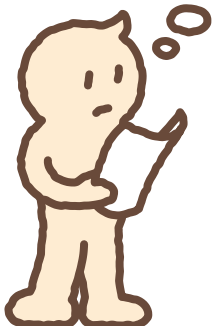
「支払利息」は経常的経費ですが、借り入れた市債の償還元金は借りたものを返すので、その他の経費として「3.投資・財務的収支の部」にあります。

特別会計への繰出金のうち建設費、公債費以外に充てた繰出金

1.経常的収支の部	
人件費	262.3億円
物件費	180.4億円
社会保障給付	191.2億円
補助金等	43.4億円
支払利息	17.7億円
他会計等への事務費等充当財源繰出支出	110.9億円
その他支出	9.1億円
<b>支出合計</b>	<b>815億円</b>
地方税	766.8億円
地方交付税	0.5億円
国県補助金等	145.5億円
使用料・手数料	36.8億円
分担金・負担金・寄附金	8億円
諸収入	16.8億円
地方債発行額	25億円
基金取崩額	12.3億円
その他収入	61.7億円
<b>収入合計</b>	<b>1,073.4億円</b>
<b>経常的収支額</b>	<b>258.3億円</b>

赤字債である臨時財政対策債の発行額

主要科目で合格点というところかな…



2.公共資産整備収支の部	
公共資産整備支出	217.7億円
公共資産整備補助金等支出	22.4億円
他会計等への建設費充当財源繰出支出	6億円
<b>支出合計</b>	<b>246.1億円</b>
国県補助金等	61.6億円
地方債発行額	50.5億円
基金取崩額	-
その他収入	12億円
<b>収入合計</b>	<b>124.1億円</b>
<b>経常的収支額</b>	<b>△122億円</b>

用地の取得、施設などの建設改良など資産形成に充てた市債の発行額



### 3.投資・財務的収支の部

投資及び出資金	0.1億円
貸付金	11億円
基金積立金	15.3億円
定額運用基金への繰出支出	—
他会計等への公債費充当財源繰出支出	44.3億円
地方債償還額	77.8億円
長期未払金支払支出	—
<b>支出合計</b>	<b>148.5億円</b>
国県補助金等	—
貸付金回収額	11億円
基金取崩額	—
地方債発行額	—
公共資産等売却収入	2.3億円
その他収入	1.9億円
<b>収入合計</b>	<b>15.2億円</b>
<b>投資・財務的収支額</b>	<b>△133.3億円</b>



翌年度繰上充用金増減額	—
当年度歳計現金増減額	3億円
期首歳計現金残高	76.4億円
期末歳計現金残高	79.4億円

期末は年度末をさし、それに対して年度初めのことを期首といいます。

公共資産整備収支と投資・財務的収支は赤字となっており、その赤字分を経常的収支の黒字分で補っていることがわかります。

## ●プライマリーバランスとは

借金である市債の利子や元金償還金を除いた支出と市債の借入額を除いた収入のバランスをみるもので、「基礎的財政収支」といいます。

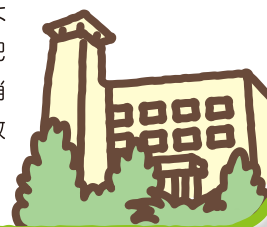
収入総額(繰越金を除く)	1,212.7億円
地方債発行額	△75.5億円
財政調整基金等取崩額	—
基礎的財政収入-A	1,137.2億円
支出総額	1,209.8億円
地方債償還額	△95.5億円
財政調整基金等積立額	△3.4億円
基礎的財政支出-B	1,110.9億円
基礎的財政収支=A-B	26.3億円

## ★新公会計制度導入の背景について

自治体が企業と同じように財務書類を作るようになったのは、平成12年3月に自治体のバランスシート(貸借対照表)の統一な作成方法が国から示されたのが始まりで、その方式(旧総務省方式)により藤沢市もこれまで作成してきました。

平成17年12月に閣議決定された「行政改革の重要方針」により、「地方においても資産・債務改革に積極的に取り組む」よう通達があり、その手段として財務書類4表の作成が求められることとなり、これが今回の公会計制度導入のキッカケとなりました。

財務諸表を作成することにより、未利用資産や未収金などを把握して、その有効活用方法や解消策を検討・実行することで、行政改革を推進させることが目的です。



ホームページで  
ご覧ください「**藤沢市の借金時計**」

## ？「借金時計」って一体どんな時計？ 借金で買った時計なの??

自治体の借金残高が1秒単位にどう変わっていくのかを  
デジタル時計のように表示したものを「借金時計」といいます。

インターネットでは、「日本の借金時計」や「全国都道府県の借金  
時計」などを見ることができますが、全国の市町村では、この借金  
時計を公開している自治体はまだまだ少ない状況です。



藤沢市のホームページにて公開していますので、  
みなさん是非一度ご覧ください！

藤沢市の市債(借金)の残高は

2010年 3月 13日 14時 15分 16秒 現在

1601億 4423万 6293円 68銭 です。

2種類の表示ができます。表示したい項目の○をクリックして選択して下さい。

- 一般会計
- 全会計＝一般会計＋特別会計＋企業会計

家計の収支にと考えると

一般会計・生活費に使うお金  
特別会計・教育資金など区別して使うお金  
企業会計・生活費と切り離している商売のお金

一時間あたり 約 70万 1545円 減っていきます。

一秒あたり 約 195円 減っていきます。

借金時計のこまかい内訳は[こちら](#)

※参考

アクセスは、[藤沢市ホームページ](#)>各課のご案内>財政課>借金時計

URLは<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/zaisei/page100095.shtml>

または「藤沢市の借金時計」をキーワードにして検索するとご覧になれます。

※各ページの表中の数値について、その積み上げと合計が一致しないところがあります。

## わかりやすい 藤沢市の財政2010

平成22年度予算と平成20年度決算のデータ使用により作成  
2010年3月 発行

発行/藤沢市財務部財政課

〒251-8601 藤沢市朝日町1-1

電話 0466-25-1111(代表) 内線2302

FAX 0466-50-8405

E-mail [zaisei@city.fujisawa.kanagawa.jp](mailto:zaisei@city.fujisawa.kanagawa.jp)

再生紙を使用しています

ふじさわの  
財政のこと、もっと  
理解しなきゃ...

